

9月のほけんだより



令和3年9月1日
あいせん保育園

暑い夏をエネルギーに過ごした子どもたち。夏の疲れは出ていませんか？
元気に活動に向かえるよう、今一度、子どもの健康生活を見直してみましょう。



9月9日は救急の日

「9(きゅう)9(きゅう)」の語呂合わせから、この日を救急の日といいます。“救急について知ろう！”という日です。救急箱の点検をしたり、万一に備えて応急手当の手順を学んでおくこと安心ですね。保育園でもAEDを設置しています。見てみたい方や触ってみたい方がいましたら声を掛けてください。



傷の応急処置～湿潤療法～

近年、自然治癒力に着目した湿潤療法が広がり、キズパワ―パッドなどのハイドロコロイド素材の絆創膏が数多く販売されています。湿潤療法はモイストヒーリング、閉鎖療法などとも呼ばれており、「傷口を清潔にし、そこから出る体液(滲出液)を保つことで痛みが少なく、傷をきれいに早く治す」という考え方です。

《注意点》

- ① 水道水で30秒以上傷を洗い砂や汚れをしっかりと落とす。
- ② ばい菌を退治するだけでなく、正常な細胞も傷つけてしまうため消毒はしない。
- ③ 乾燥させない。
- ④ 化膿している傷やかさぶたには使用しない
- ⑤ 子どもの皮膚は薄いため使用には注意する。製品によっては2歳以下には使用禁止となっているものも。
- ⑥ 2～3日に1回はパッドをはがして傷口の状態を確認する。



動物に噛まれた、異物が深く刺さった、血が止まらないなどの場合は病院へ行きましょう。また、2週間以上経過しても治らない傷は家庭で手当てできる範囲より重い傷である場合や、何か傷を治りにくくしている原因がある場合が考えられるため、受診をおすすめします。

新型コロナウイルス感染症 ～子どもの感染者数が急増～

新型コロナウイルス感染症の「第5波」では、20歳未満の感染者も右肩上がりに増加しています。感染力の強いデルタ株の影響が見られています。特に保育園ではクラスターが相次いで発生しており、臨時休園する施設が1ヶ月前の4倍に達するそうです。川崎市内の市立小中学校は夏休みが延長されていましたが、9月1日から多くの学校で新学期が始まるとおられます。そうすると、さらなる感染の拡大が心配されます。

デルタ株は水疱瘡並みの感染力があり1人が8～12人にうつすとされます。頼みの綱であるワクチンは有効性と安全性の面から、12歳までは打つことができません。こうした背景が、感染を拡大させている要因の一つと考えられます。

新型コロナウイルスのワクチン接種は済みましたか？なかなか予約が取りにくい状況ですが、親世代がワクチンを打つことで感染拡大防止につながります。できるだけ早めに受けることをお勧めします。



8月の健康情報

園児や職員での感染症は見られませんでした。しかし、新型コロナウイルスの感染者は増加しています。引き続き、手指の消毒やマスクの着用、体調不良時の休職など感染拡大防止対策のご協力をお願い致します。